



European Patent Office

A publication of the European Patent Office  
ISSN 1024-6673

# epidos news

## ESPACE® ACCESS EPC: 29 加盟国からの データ

ヨーロッパ中の隅々まで  
ESPACE® ACCESS サーチ  
を拡大することができる製品  
が今現在入手可能です。

多くの読者は、EP と PCT データ  
が収録されている ESPACE®  
ACCESS が、ヨーロッパ特許庁の  
特許刊行物に関するデータを入手  
する上で卓越したツールであると  
認めるでしょう。今回 ESPACE®  
ACCESS EPC と呼ばれる新製品  
は、EPO 加盟国の国内システムから  
の特許刊行物に関するデータを  
統合した単一のデータベースを  
提供します。

ESPACE®ACCESS EPC には、  
国内言語のタイトルと、可能な限り  
の英文抄録が収録されています。  
そして、MIMOSA ユーザソフトウ  
ア(Ver5)の最新版では、

(利用可能であれば) [esp@cenet.org](mailto:esp@cenet.org)  
上のフルドキュメントに、  
ESPACE®  
ACCESS EPC  
から検索された  
書誌的事項から  
便利なハイパー  
リンクでリンクさ  
れています。

ESPACE®ACCESS EPC への加入  
者は、年に4回、データベースの完全な  
アップデート版を受け取ることでしょ  
う。この膨大なデータ蓄積にもかかわ  
らず、年間加入料金は、たったの € 150  
で、以前の ESPACE® ACCESS  
EUROPE と同じ価格です。

この新しいシリーズの主な特徴は、下  
記の簡単な記録でご紹介します:

新 ESPACE® ACCESS EPC  
シリーズには、EPO の 30 加盟国  
のうち 29 カ国の検索可能書誌的  
事項データが収録されています。

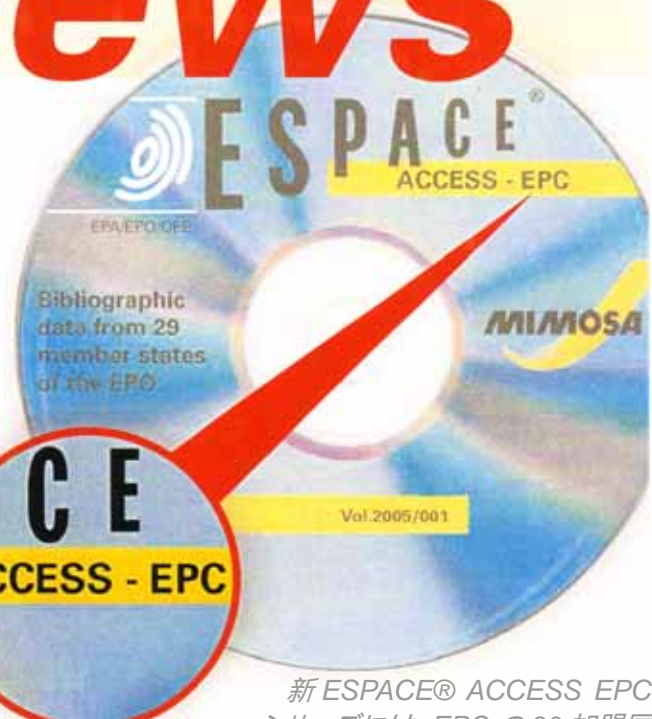
このエキサイティングな新製品  
についての詳しい情報は、  
[epal@epo.org](mailto:epal@epo.org) にメールをいただ  
くか、EPO ウェブサイト:  
[http://www.european-patent-off  
ice.org/patinfopro/cdrom/key/n  
ational/espacespace\\_access\\_epc.sh  
tml](http://www.european-patent-office.org/patinfopro/cdrom/key/national/espacespace_access_epc.shtml) 上のブルーシートにご相談  
ください。

ESPACE® ACCESS EPC へ  
のご連絡は、[cdorder@epo.org](mailto:cdorder@epo.org)  
までお願いします。

### ESPACE®ユーザへ素晴らしいニュー ースがあります!

5月に提供された MIMOSA ver.5 の  
最新版検索ソフトウェアは、これまで  
にない広範囲で全く新しい特徴を提  
供しています。詳しいことは、次回の  
EPIDOS ニュースに掲載致します。  
その間、ユーザには、EPO ウェブサ  
イトを定期的にチェックし、MIMOSA  
ソフトウェアシステムに関する情報を  
チェックすることをおすすめします。

\*注釈: ESPACE® ACCESS EPC には、廃  
刊された ESPACE® ACCESS EUROPE に  
収録されていた全ての過去のデータが入っ  
ています。ESPACE® ACCESS EUROPE に  
ご加入されていた方々は、自動的に  
ESPACE® ACCESS EPC の加入者に移行されま  
す



In this issue	
2	New technical fields in the IPC
3	Editorial
3	Introducing "epal"
4	News from <a href="mailto:esp@cenet.org">esp@cenet.org</a> promotion
5	A new service: FAQ - Far East
5	English search interface for Korean data on KIPRIS
6	European publication server
6	News from INPADOC
7	"World Patent Information"
7	ePHOENIX goes open source
8	Other news

# 2.2005



## IPC 内にできた新しい技術分野

### 結合性化学

新しいIPCが2006年1月1日からスタートするわけですが、この新しいIPCには、IPC改訂の特徴の他に、(IPCの新刊のたび毎に)それ自身全く新しい分類体系への変更がなされています。これらの変更は、WIPOウェブサイト上で、2005年6月/7月に公開されます

(<http://classifications.wipo.int/>をご覧ください)。また、これらの変更の中には、IPCの中で特に言及された新しい技術分野が含まれ、例えば、「ビジネスモデル」「結合性化学」「伝統的医学」が重要な事柄となっています。

### ビジネスモデル

第6版と第7版の最新IPC版において、「ビジネスモデル」はG06F17/60の特定の機能に特に適合したデジタル計算またはデータ処理の装置または方法の中の、管理目的、業務目的、経営目的、監督目的または予測目的に分類されてきました。しかしながら、この分野の急速な特許出願件数の増加が、この分野の分類を策定させたのですが、検索の難しさもまた露呈させました。更に、商用的応用に関する主題が記載されていないながら、G06F(「電子デジタルデータ処理」)の境界線から必然的に落とされることがない範囲内で、新しい形の特許出願がお目見えしました。

この主題の合理的な関連度と、関連した研究・開発の必然的高い度合いを見てみると、IPC改訂実行グループは全体として新しいサブクラス: G06Q を作ることにしました。

G06Qは、最初、6つのメイングループに分類され、その内の4つは次の一般的なアプリケーション: 管理、(電子)支払、(電子)商取引、金融をカバーしています。5番目のメイングループ(50/00)は、特定のビジネスセクター或いはアプリケーションが発明に関連している時に利用され、6番目の(90/00)は有意なデータ処理を含んでいないシステムや方法をカバーしています。

ほんの2,3年のタイムスパンの中で、結合性化学は、科学者が化学合成や創薬を考える上でこれまでの方法をガラリと変貌させました。今現在、全世界の主な化学会社、製薬会社で利用され、次第に無機化学、触媒、物質発見といった近隣分野へも浸透しつつあります。この技術は、化学的構成要素、例えば試薬の結合により(大きな)多様な化学的エンティティ(ケミカルライブラリ)の(高速)調合からなっています。それは、現行バージョンのIPC、例えば薬剤スクリーニング(G01N)、化学合成(例えば、C07,C01)、装置(B01J)、或いは、コンピュータソフトウェア(G016)といった一連の異分野にも広く散らばって存在していますが、実際に、これらのIPCエントリーのいずれも技術の結合性側をカバーしていません。更に、本来の化合物用のエントリーは存在しません。従って、結合性化学は新しいIPCとして存在させるに値します。

新しい体系(C40B)は、3局はもちろん、IPC共同体にも同意を得、IPC改訂の脈絡の範囲で発展させる場合には、第1国優先規則や多観点分類原則を遵守することとしました。

New technology	IPC classes up to 31.12.2005	New IPC classes as of 1.1.2006
Business methods	G06F17/60	G06Q
Combinatorial chemistry	Widely spread	C40B
Traditional medicine	A61K35/70, A61K35/72 and A61K35/78 to 35/84	A61K36/00

そして、それが適切な場合には、結合性特徴のためにこの構想に分類された方法、装置、ライブラリメンバーは、また、固有な特徴のために、IPCの中のいずれかの場所に分類されます。

### 伝統的医学

伝統的知識や民俗学的及び遺伝学的情報資源への関心事の現れは、WIPOがある問題を分析するために政府間委員会を設立することを結審したことにあります。

伝統薬の分野においては、植物抽出物の入った調合薬剤は特に重要であります。そこで、植物抽出物の入った医療化合物分野のIPC改訂のために、インドから提出された文書に基づき提案書が用意されました。結論として、植物、菌類或いはイースト抽出物の入った医療物質をカバーする新しいメイングループ(A61K36/00)が、これまで存在していたサブグループA61K35/70,A61K35/72,A61K35/78~35/84に代わって誕生しました。

200個程度のサブグループが入っているこの新しい構想は、主に最新のそして承認された分野の分類学的用語に基づいています。これらにはメイングループの新しい細分類の基礎として利用されている植物科のラテン名が付いていますが、ほとんどの場合、括弧の間に英語で該当する言葉が付いてあります(例、

「A61K36/25...Araliaceae(Ginseng family)」)。最も重要な科に対しては、種のラテン名を使って更なる詳細が付いています(例、

「A61K36/481...Astragalus(milkvetch)」)。

注釈:新しいサブクラス(例:G06Q)はWIPOにより採択されたことを受け、全特許庁にも採択されたこと、そして特許法や実務に関して何ら含みも因果関係ももたないということは事実です。しかしながら、G06Qの観点から落ちてくる比較的小さな主題の一部分に対しては、国内(地方)特許法は(未だ)調和していないことを十分承知しておかなければなりません。例えば、特許性ありと全世界的に承認されないG06Qの観点から落ちてくる実質技術的開示がされていない主題例は、広義に記載されたビジネスあるいは金融テーマに関連します。

## editorial news



新しい技術分野では日々の仕事に途切れることがない衝撃が付きまとうものですが、多くの分野では、顧客ターゲットグループや政治環境は大きく変動することはありません。

しかしながら、特許情報の世界では、急激な変化が起きていることは皆さん御存知かと思えます。例えば、私たちは最新技術を利用していること、次に特許情報は一握りの専門家により利用された特定分野の製品から、広く世界に認められた投資計画ツールとなったこと、そして、特許情報がハイレベルな政策議論の場に上ったことの3つの局面でもお分かりでしょう。

技術革新は、もちろん、私たちの日々の糧の一部です。徐々に広がる顧客基盤や、増大する新しい専門家の特許及び特許情報への興味は、いろいろな

展示会、見本市、会議で明白となりました。特に、2,3ヶ月前の、特許や特許情報における興味がヨーロッパで最も重要な政策レベルに上り詰めた事実、多くの重要な議題に私たちがその政策決定段階に真に貢献できていた事実、に感銘を受けました。

今年の3月30日に、ヨーロッパ特許庁は、ヨーロッパ議事堂でインフォメーションデーを開催しました。EPO 所長である Alain Pompidou 氏は議会議員の方々に、バイオ技術発明、ナノテク技術、及びコンピュータ実行発明についての EPO の位置について演説しました。その傍ら、同行班は現在入手可能な特許情報サービスの実態を解説しました。

挙げた質問や、このインフォメーションデーで議論されたトピックスから、ヨーロッパには知識協会を急いで設立することが不可欠であるということが明らかとなりました。

厳格に審査された、強く、質の良い、全大陸を網羅した特許は、ヨーロッパ IP 世界の必要不可欠な要素であります。ヨーロッパ国会議事堂で行われたインフォメーションデーでは、重要な貢献がヨーロッパ特許庁、国内特許庁、そして工業界からの特許情報専門家達によりこうして行なわれてきたことを明らかにしました。

ヨーロッパにおける知識協会の目標は、3つのグループからの専門家が一緒に行なえば、もはや叶ったも同然です。



## 「epal」の紹介

名前の語源は？私たち CD-ROM ヘルプデスクでは、ヘルプ以外にも、またデスクワーク以外にも多くの仕事が舞い込んできます。呼び名の中には特定のデータキャリアだけでなく、EPO データを発行するのに利用される他の広いキャリア範囲(DVD、DVD9、インターネットサーバー等)も含蓄して選ばなければいけなかったと最近痛感しました。

事実、この範囲は絶えず成長し大きくなっています。例えば、常にユーザが恩恵を受けられるように、新しい技術が ESPACE®製品や MIMOSA ソフトウェアに導入されます。2年前、第1回の ESPACE® ACCESS 版が二層構造のDVDで発売されました！そこには、一枚のディスクで160万以上のEP、WOレコードが収録されていました。また、プラハのEPO年次会議で発売された新しいバージョンのMIMOSAソフトは、現在、インターネットを通してデータベースにアクセスすることができます。

私たちのグループは、EPOで刊行物、特に、コンピュータ読み取り可能な形式の刊行物発刊の管理をしている部門の一部です。刊行物発刊エキスパートとして、加入ユーザや製品の潜在的ユーザ

共同体に、重要な助言的役割を演じています。こうしたことから、私たちの古い名称「CD-ROM ヘルプデスク」は、現在、ユーザに提供しているサービス内容を正確に反映させていませんでした。

そこで、新しい呼び名「epal」、Electronic Publications Advice Line (エレクトロニック・パブリケーション・アドバイス・ライン)を考えました。なんと親しみやすい頭文字でしょう。この名前から、私たちが提供しているサービス内容を思い浮かべていただけますし、「e-pal」もメールアドレスとして使えますので、実に電子友達という意味合いから私たちのサービス内容にピッタリです！



ESPACE®製品、オンライン掲示板、刊行物サーバーなど電子刊行物についてのご質問等がございましたら、なんなりと「epal」までご連絡ください。

新しいe-mailアドレスは、[epal@epo.org](mailto:epal@epo.org)です。(cdhelp@epo.orgで受信したe-mailは全て自動的にこの新しいアドレスに転送されます) 電話番号は以前と同じ:+43 1 521 26 2411です。

## esp@cenet®推進部からのニュース

### esp@cenet®インターフェース

新しい esp@cenet®インターフェースは、これまで多くの加盟国で採用され、現在 20 以上の異なる言語で入手可能です。古いバージョンは全ての庁に行き渡った後、早急に廃し、遅くとも 2005 年 6 月末までには完了したいと考えています。

esp@cenet®の使用は、ここ 6 ヶ月の間で急速に増え続け、約 65,000 人のユーザが、週に 128 万回の調査を行なっています。バージョン 2(古いバージョン)から最新のバージョンへの使用パターンの移行は、代表的な週のホストに記録されたパーセントを示す次の表からも明らかです。

Date	Version 2	Version 3
February 2004	57%	43%
February 2005	39%	61%

### 全文公報配信

先の号でもお知らせしたように、EPO は、esp@cenet®からドキュメントをページ単位で印刷やダウンロードする規制を解除しました。そして、今その準備が全文公報配信ソリューションという形で動き始めました。全文公報の展望がどのように使用形態に影響を与えるのか、また、私たちのシステムに衝撃を与えるのかを知るために、まず、最初は、ユーザと共にテスト期間を置き実施されることでしょう。このテスト期間はこの夏から開始され、全配備に秋までを予定しています。

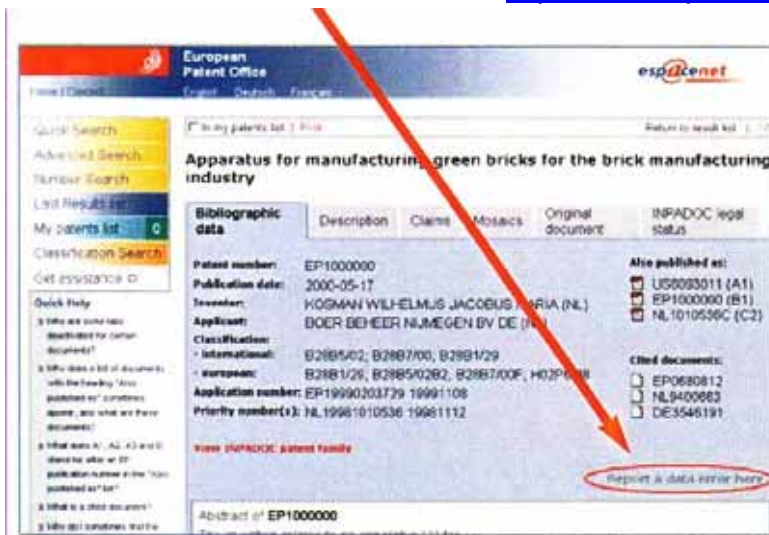
### 新しい esp@cenet®の特徴を試験してくださるボランティア募集

最終的に実施を開始する前に esp@cenet®の隠された新しい特徴を試験してくださるボランティアを募っています。esp@cenet®開発プログラムと共に支援して下さるご意志のある方は、esp@cenet®ヘルプデスク ([esp@cenet@epo.org](mailto:esp@cenet@epo.org)) まで e-mail をお送りください。その際、「tester」と題目を添えていただければ、折り返し、

こちらからお返事を差し上げます。

### データエラーの報告

esp@cenet®ユーザは、現在、書誌的事項データ表示画面からオンラインフォームを使って直接データエラーを報告することができます。この簡単なフォームを使って、データエラー情報を EPO にお送りくだされば、より品質の良いデータが確保されます。



### 今後の esp@cenet®イベント

ユーザが esp@cenet®推進及び開発チームのメンバーに会えるイベントリストを下表に掲載します。

### esp@cenet®フォーラム

esp@cenet®フォーラムは、esp@cenet®ユーザが自分たちの考えを掲載したり、疑問を投げかけたり、他の esp@cenet®ユーザと交流できるコンピュータ上のプラットフォームです。フォーラムの様相を変えてからたったの 6 ヶ月で、登録ユーザが 1000 人以上にもなりました。しかしながら、真の賞賛すべき点は、その閲覧(立ち寄り)数にあり、現在、500000 回を数えています。

<http://forum.espacenet.com>

現在計画中の他のイベントも近いうちに発表になります。詳しい情報を知りたい方や、あなた達の地域でイベントを行なってほしい方は、Lisa McDonald-Maier までご連絡ください。

esp@cenet®Promotion  
[lmcdonald@epo.org](mailto:lmcdonald@epo.org)

Date	Event	Country
31.08 - 02.09.2005	EAPIC III	Singapore
14 - 15.09.2005	Irish roadshow continued	Ireland
19 - 22.09.2005	EPIBS seminar	Austria
28. 09. 2005	Seminar for patent agents	United Kingdom
11 - 13.10.2005	Cordia Convention	United Kingdom
16 - 19.10.2005	Infonortics	France
8 - 10.11.2005	EPO Annual Patent Information Conference	Hungary
23 - 24.11.2005	epoline® Annual Conference	Greece
29.11 - 01.12.2005	Online	United Kingdom

## 新しいサービス： FAQ - 極東

EPO の特許情報ウェブサイト上の新しい「FAQ - 極東」セクションをご紹介します。このセクションでは、日本、中国および韓国の工業所有権に関する非常によくある質問の答えが見つかります。こちらをご覧ください：

[http://patentinfo.european-patent-office.org/prod\\_serv/japan/index.en.php](http://patentinfo.european-patent-office.org/prod_serv/japan/index.en.php)

このセクションには、対象国の統計資料、特許動向、付与手続きおよび番号方式などの基本情報に関する役立つ項目が含まれています。

ぜひとも一度新しい「FAQ - 極東」ウェブサービスを見てみてください。皆様のご協力、ご意見およびご提案によって、この新しいセクションは成長し、アジアの特許情報を必要としているすべての人にぴったり合った専門の情報源に発展する可能性があります。

最後に、「FAQ - 極東」ウェブサービスがお役に立てたのなら、毎年恒例の「極東と西欧の交流」フォーラムに興味を抱くかもしれません。このフォーラムは、今年は11月24-25日にウィーンで開催されます(参照：

[www.european-patent-office.org/epidos/conf/jpinfo/2005/](http://www.european-patent-office.org/epidos/conf/jpinfo/2005/))。

## KIPRIS での韓国データの 英語版検索インターフェース

2005 年の 1 月に、韓国特許情報院 (KIPI) は、よく知られている KIPRIS システム (韓国工業所有権情報サービス) において新しい英語版インターフェースを開始しました。

新しい英語版検索マスクによって、韓国語を話せない人たちにとって、オリジナルの韓国特許および実用新案公報の全文にアクセスすることがより簡単になりました。

データの蓄積範囲は、公開特許および実用新案公報では 1983 年まで、公告された登録特許および実用新案公報では 1948 年まで遡って蓄積されています。

平均して、韓国特許および特許出願は、登録日または公告日から 4 日以内に、KIPRIS の新しい「特許 / 実用新案」データベースで利用できます (KPA データベースでは、翻訳作業のため、約 4 ヶ月遅れます)。

KIPRIS 英語版検索インターフェースのその他の有用な特徴は、以下のとおりです：

特許および実用新案のクロス検索

上級検索オプションの個々に適した検索マスク

検索クエリーの保存

結果リストのダウンロード

結果リストの表示領域の選択

法的状況の簡易表示

検索可能な同義語辞典

キーワードのランキング、統計情報など

KIPRIS の KPA 検索のユーザは、現在のユーザ ID とパスワードで新しいサービスにアクセスできます。新しいユーザも、無料で登録できます。

KIPRIS の英語版はこちらで利用できます：<http://eng.kipris.or.kr/> (初期画面の右上の隅の「特許検索」ボタンをクリックしてください)。

**注釈：**検索結果を正確に表示するために、PC のローカル設定の入力言語をハングル IME に変更し、TIFF プラグインと韓国語フォントを備えた Adobe の Acrobat リーダーがインストールされていることを確認してください。

## アジアに詳しいですか？

### 知っていましたか？

中国の TCM 特許出願の件数が上昇中であることを、依然として、出願人の大半を占めているのは中国の企業ですが、これまで以上の外国の企業、特に日本および韓国の企業が、中国で TCM 特許を申請しています。詳細はこちら：

[http://www.sipo.gov.cn/sipo\\_English/qfxx/iprspecial/20050221\\_40395.htm](http://www.sipo.gov.cn/sipo_English/qfxx/iprspecial/20050221_40395.htm)

韓国政府が今年、韓国特許法に対して多くの主要な変更を行なうことを計画していることを、改正計画の中には、「新規性」の新しい解釈、異議申し立て手続きの廃止、実用新案への実体審査の導入および植物特許の特許性に対する新规定などがあります。詳細はこちら：

<http://www.managingip.com/?Page=10&PUBID=34&ISS=14226&SID=494669&TYPE=20>

および <http://www.kipo.go.kr> (KIPO ニュースの「特許法および新実践法の改正に関する公聴会の開催」と題する記事)

現在、韓国の登録特許の所有者は、マレーシアと、つい最近からシンガポールでの特許権も、これらの国の特許機関に登録証を提示するだけで、審査をせずに取得することができることを。この手続きには 2 年かかるのですが、この新しい手続きによって、韓国の特許所有者は、素早く低コストで、マレーシアおよび / またはシンガポールの対応特許権を取得することができます。詳細はこちら：

<http://www.wptn.com/WPTN%202005%20Book-I.pdf> および <http://www.kipo.go.kr> (KIPO ニュースの「審査なしでシンガポールの特許を得られる韓国の特許権者」と題する記事)。

韓国特許庁 (KIPO) が、PCT 最小限資料に韓国の特許文献を含める提案を提出したことを。詳細はこちら：

[http://www.wipo.int/edocs/pctndocs/en/2005/pct\\_new\\_s\\_2005\\_3.pdf](http://www.wipo.int/edocs/pctndocs/en/2005/pct_new_s_2005_3.pdf)

## ヨーロッパ刊行物サーバー：ヨーロッパ特許公報の公式ソース

以前の EPIDOS ニュースに掲載したヨーロッパ刊行物サーバーは、現在、全ヨーロッパ特許ドキュメント用の公式刊行物ソースとなりました。

2004年12月22日のEPO所長の決定

([http://www.european-patent-office.org/news/info/pdf/not22\\_12\\_2004.pdf](http://www.european-patent-office.org/news/info/pdf/not22_12_2004.pdf)参照)以来、EP-A、EP-Bドキュメントは2005年4月1日以後、電子化形式のみで発行されてきました。そして、紙による発行は廃止されました。

ヨーロッパ刊行物サーバーへのアクセスは、一日中無料です。

(<http://publications.european-patent-office.org/PublicationServer/search.jsp>)

ご質問、ご要望がございましたら、[publications@epo.org](mailto:publications@epo.org)までお問い合わせください。



## INPADOC からのニュース

### スロベニアのリーガルステータスデータ

2005年第16週から、INPADOCはスロベニアのリーガルステータスデータを収録します。これで、リーガルステータスデータベースに収録されるのが全部で46カ国になります。

スロベニアのリーガルステータスは、国内特許、ヨーロッパ特許の特許付与後の情報、並びに国内移行のPCTエントリからなります。

2005年以降のリーガルステータス情報が報告されたその一方で、過去の未処理分で、2004年末現在、スロベニアで特許権が有効なものと、スロベニアで保留になっている全特許出願の「キックオフ(最初の)ファイル」が要約と共に収録されました。

### 最新の中国データ

中国特許及び実用新案データの再ロードは2005年の第18週に完了しました。1993年、中国特許庁は、審査済み特許出願明細書ではなく登録された特許公報を導入しました。これは、その時以降に公開された中国特許はBの代わりに種別コードCを用いたからであります。再ロード期間中、全てのCN-BレコードをCN-Cに、また、実用新案に関しても、CN-UレコードをCN-Yに置き換えました。現在、収録期間は2004年末までですが、2005年公開分は随時追加されます。

### ダウンロードエリアの拡大

完全に生データであった未処理分の製品が完成しました。これは、全ヨーロッパ特許データ(例:EP-Aフルテキスト)や多国データ(例:DOCDB)が現在DVDの形で入手可能です。2005年の第17週以降、EPOはヨーロッパ特許データ(EPフルテキスト、引用文献、一般文献引例)のファイルを週毎、月毎にアップデートしています。これらのデータは、インターネットダウンロードエリアを介して購読者に提供しています。

### GCとUAの書誌的データ

Worldwid 書誌的ステータスデータベースの内容は、湾岸協力会議(2005年2週から)とウクライナ(2005年第14週から)からの特許を収録することで強化されました。これで、75の特許庁からの書誌的事項データがデータベースで入手可能となります。

湾岸協力会議(GC)のデータは、これまで許可された特許からなり、ウクライナ特許に関しては、1999年10月以降の特許を収録しています。実用新案に関しては随時収録予定です。

これらニュースの詳細内容は、下記アドレスのIPGニュースレター01/05をご覧ください。  
[www.european-patent-office.org/inpadoc/news/inp/index.htm](http://www.european-patent-office.org/inpadoc/news/inp/index.htm)

### Questel・Orbitの特許審査官

Questel・Orbitは「パテントイグザミナー(特許審査官)」と呼ぶ新しいウェブベースの特許ポートフォリオ管理サービスを発表しました。

Questel・OrbitのDavid Dickens氏によると、このパテントイグザミナーは、公報のフルテキストとオリジナルの紙による特許を二つ並べて表示することで、特許理解と分析プロセスを容易にすると言及しました。テキスト分析では、ユーザ制御テキストハイライト機能で概念群を見つけ出します。

また、ランキングや注釈機能も付いています。ユーザは、15選択項目に基づきレコードにフィルターを掛けることができ、更に、4つの異なる方法でソートしたり、Questel・Orbitオンラインサーチからデータを取り込むことができます。SDIアラートも可能です。

無限の数のレコードとワークファイルは長期に渡るプロジェクトと分析により達成されることでしょう。

詳しくは、[www.patexaminer.com](http://www.patexaminer.com)、または、Questel・Orbitウェブサイト：[www.questel.orbit.com](http://www.questel.orbit.com)をご覧ください。



## 「世界の特許情報」

読者の方々は、この国際的な同業者による論評の対象となる定期刊行物の最新号(2005年27巻2号)の内容に興味がありかもしれません。この最新号は、電子形態および印刷物として最近発行されたもので、以下の内容を含んでいます:

特許出願に関するテキスト以外の電子資料 - 特許庁、出願人およびサーチャーへのいくつかの質問(Stephen Adams)

INPADOC: 30年間の努力にもかかわらずいまだに残る未蓄積の領域!(Davide Lingua)

個人発明家と公的支援策: フィンランドの33例のケーススタディによる洞察(Martin Meyer)

日本および中華人民共和国における米国、欧州連合、日本および韓国の企業の特許活動の相互比較(Michael O'Keefe)

商標データベースによる字句の類似検索(Casper Fall および Christophe Giraud-Carrier)

オーストリア特許庁の広報活動の普及(Ingrid Weidinger)

1980年から2004年にわたる、情報技術(IT)の国際出願における25年の歴史と特許情報のプロセスと普及の標準(Don McMaster)

書評 - ケーブル(The cable): ワイヤーが世界を変える

会議報告 - 2004年10月チェコ共和国のプラハにて開かれた EPIDOS 年次会議

編集者のMike Blackmanは、この定期刊行物の発行に際して、皆様からの記事をお待ちしております。

Mblackwpi@aol.com までご連絡ください。

この定期刊行物に関する情報、目次一覧、概要などは、

<http://www.elsevier.com/locate/worpatin> でご覧になれます。

## Publications news

'刊行物ニュース'は、読者に統計と一般的なEPO刊行物に関する情報を提供するEPIDOSニュースの定期的記事です。

### 特許発行数

January - June 2005	2005		
	Weekly average	Total Jan-June 2005	Change vs. 2004
EP-A documents			
EP-A1	734	19 078	1.1%
EP-A2	393	10 223	-3.8%
Total EP-A1 + A2	1 127	29 301	-0.7%
Percentage EP-A1 of total A1+A2			65.1%
EP-B documents			
EP-B1+B2	938	24 379	-16.5%

■ EP-A1: サーチレポート付きヨーロッパ特許出願

■ EP-A2: サーチレポートなしのヨーロッパ特許出願

■ EP-A3: ヨーロッパサーチレポート

■ EP-B1: ヨーロッパ特許公報

■ EP-B2: 補正されたヨーロッパ特許公報

注釈: 表には、PCT ルート(Euro-PCT)を経由したヨーロッパ特許出願の統計は含まれていません。それらは、WIPOで公開され、英語、フランス語、ドイツ語以外の言語でなければEPOでは入手できません。現在、ヨーロッパ特許出願の約60%がEuro-PCT出願です。

## ePHOENIX オープンソースになる

epoline® PHOENIX システムがオープンソースソフトウェアとして今現在入手可能です。

2004年の冒頭、ユーザに“draft once, file anywhere”オプション(e-filingの国際標準)の利用を可能にするため、そしてオンライン出願システムの調和と相互運用の基盤を提供するために、epoline®オンライン出願ソフトはオープンソースソフトウェアとして利用可能になりました。このソフトウェアは、世界最大級のオープンソース開発サイトであるSourceForge(<http://sourceforge.net/projects/eolf/>)を通してアクセス可能です。

オンライン出願ソフトウェアは現在SourceForge上で、ePHOENIXとepoline® PHOENIXシステムに統合されています。2005年4月24日にオープンソースソフトウェアとして導入されたePHOENIXは、長い時間を掛けてIP情報保管の世界標準を構築してゆくことでしょう。

ePHOENIXは、IPドキュメント処理を支援するために設計されたドキュメントと関連書類の管理システムです。

EPOで開発されこのシステムは、特許庁の出願ドキュメントを電子化データで管理することが可能です。そして、取り込まれる全てのドキュメントをスキャンする機能を持ち、且つ、電子化ドキュメントをスクリーン上に表示するユーザインターフェース



ePHOENIX をオープンソフトウェアとして提供を開始したことにより、ドキュメント変換の容易化、出願費用の削減支援、そして特許庁内の作業効率アップが達成されました。

を持っています。更に、印刷や作業分配の機能も付いています。

ePHOENIXは、現存するITシステム、組織構成、作業手順、維持されてきた仕様を許容するツールとインターフェースを提供します。これにより、開発コストリスクを最小限にし、且つユーザの満足度を最大限にします。

オープンソース共同体と特許庁から集められるアイデアは、将来、システムの改善や、ePHOENIXを身近な商品とするために、EPOや加盟国特許庁で利用されます。

ePHOENIXシステムは、下記のアドレスからアクセスできます。

<http://sourceforge.net/projects/ephx/>

## 他のニュース

### COPS ウェブサイト [www.cops-news.info](http://www.cops-news.info)

「特許サーチャー認定」(COPS)グループは、新しいウェブサイトを立ち上げ、そこで COPS グループが追い求めるゴールについて情報を開示しています。このサイトでは、ユーザに情報提供やご意見をお寄せいただけるよう、ご協力を呼び掛けています。COPS ウェブサイト:  
[www.cops-news.info](http://www.cops-news.info).



### EPO 特許情報会議 - プログラム入手可能

EPO特許情報会議 (EPIDOS) とヨーロッパ委員会の PATINNOVA'05 のプログラムが現在 EPO の特許情報ウェブサイト (<http://patentinfo.european-patent-office.org>) から入手可能です。どうぞクリックしてみてください。会議ウェブページには、登録の仕方や展示会での発表を希望している会社や組織の情報が載っています。

### 新しく取り入れられた Register Plus

昨年 11 月に無事 Register 関連サービスが提供されましたが、EPO は引き続き新しい Register Plus サービスを提供することになりました。このサービスを使えば、Online European Patent Register と Online Public File Inspection サービスの両者にアクセスすることができます。

### 2005 年極東・西欧会議 2005 年 11 月 24-25 日開催

今年の「ウィーン極東・西欧会議」フォーラムのためにウェブサイトを立ち上げました。ウェブサイトは、[www.european-patent-office.org/](http://www.european-patent-office.org/) ですので、どうぞご覧ください。イベントには、もう一度、日本からだけでなく中国や韓国特許庁から講演者を招き、そこでアジアの特許情勢をこの筋のエキスパートとディスカッションできる多彩な場所が用意されることでしょう。

### epoline®ユーザーデー、日程変更

この秋ブリュッセルで開催予定でありました epoline®ユーザーデーの日程が、2005 年 9 月 27 日に変更になりました。詳しくは、後日 epoline®のウェブサイト([www.epoline.org](http://www.epoline.org))をご覧ください。

#### Some important telephone numbers

##### Vienna information service

Tel.: +43 1 52126 4051  
Fax: +43 1 52126 4533  
e-mail: [infowien@epo.org](mailto:infowien@epo.org)

##### EPO on the internet

[www.epo.org](http://www.epo.org)  
Tel.: +43 1 52126 4032  
Fax: +43 1 52126 3292  
e-mail: [webteam@epo.org](mailto:webteam@epo.org)

##### Paper publications

Tel.: +43 1 52126 4548  
Fax: +43 1 52126 2491  
e-mail: [docdeliv@epo.org](mailto:docdeliv@epo.org)

##### Electronic publications advice line

Tel.: +43 1 52126 2411  
Fax: +43 1 52126 2492  
e-mail: [epal@epo.org](mailto:epal@epo.org)

##### Subscriptions

Tel.: +43 1 52126 4546  
Fax: +43 1 52126 2492  
e-mail: [subs@epo.org](mailto:subs@epo.org)

##### INPADOC helpdesk

Tel.: +43 1 52126 115  
Fax: +43 1 52126 3292  
e-mail: [inpadoc@epo.org](mailto:inpadoc@epo.org)

##### Japanese patent information

Tel.: +43 1 52126 4545  
Fax: +43 1 52126 4197  
e-mail: [jpinfo@epo.org](mailto:jpinfo@epo.org)

##### Training

Tel.: +43 1 52126 1043  
Fax: +43 1 52126 4533  
e-mail: [training.vienna@epo.org](mailto:training.vienna@epo.org)

Switchboard Tel.: +43 1 52126 0

EPO Customer Services are open for your enquiries on all matters relating to European patents:  
Tel.: +49 89 2399 4636, e-mail: [infowien@epo.org](mailto:infowien@epo.org)

#### Impressum

Publisher: Wolfgang Pilch  
Managing Editor: D. Shalloe  
Contributors: P. Aladenise, P. Avédikian, M. Blackman (World Patent Information), D. Dickens (Questel.Orbit), P. Foglia, P. Held, L. McDonald, J. Moreau, P. Paris, W. Pilch, V. Rogier, K. Rowles, I. Schellner, V. Vajsbaher, A. Wenzel, H. Wongel  
Design: Atelier 59, Munich

Epidos News is published by the Principal Directorate Patent Information, European Patent Office, Vienna sub-office, Rennweg 12, 1030 Vienna, Austria, Tel.: +43 1 52126 0

The opinions expressed in this publication are not necessarily those of the EPO. EPIDOS is a registered trade mark.

epidos

European Patent Information and Documentation Systems